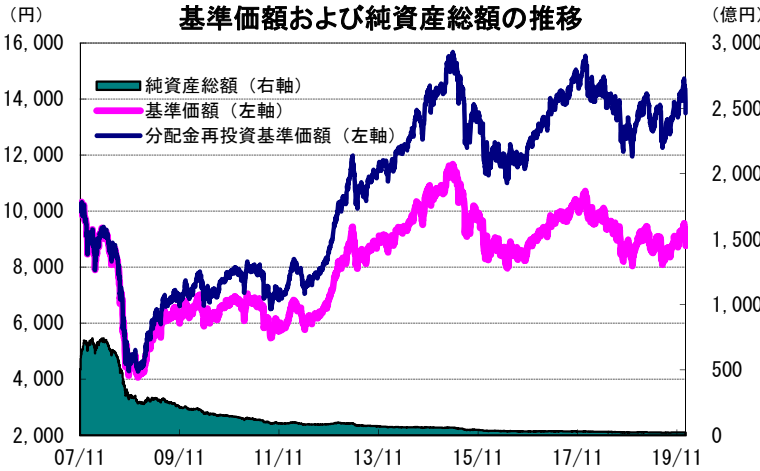


スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)

基準日 2020年1月31日



* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
* 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2007年11月30日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年1月、3月、5月、7月、9月、11月の各10日(休業日の場合は翌営業日)

基準価額	8,764円
純資産総額	20.27億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	97.9%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.5%
現金等	1.6%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解(月次ベース)			
基準価額変動金額			-793円
内訳	株式等	アジア太平洋地域	-549円
		中東地域	-1円
	為替		-217円
	その他		-26円

* 基準価額は信託報酬控除後の値です。
信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
* 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-5.55%	0.14%	-1.59%	3.42%	4.78%	34.93%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 金額は対象期間における基準価額(分配金込み)の変動を表したものです。
* 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第62期	第63期	第64期	第65期	第66期	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期	第73期
	18/3/12	18/5/10	18/7/10	18/9/10	18/11/12	19/1/10	19/3/11	19/5/10	19/7/10	19/9/10	19/11/11	20/1/10
分配金	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円	45円

分配金累計	直近12期計	設定来合計
	540円	3,315円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	香港	27.4%	94.2%
	オーストラリア	18.0%	
	台湾	15.3%	
	中国	11.7%	
	その他	21.8%	
中東	UAE	1.6%	2.1%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	-	3.7%	3.7%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	39.3%
2	豪ドル	18.6%
3	台湾ドル	15.9%
4	韓国ウォン	6.4%
5	インドネシアルピア	3.8%
	その他	16.0%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	18.9%
2	金融	16.8%
3	コミュニケーション	13.5%
4	生活必需品	13.0%
5	一般消費財	12.7%
	その他	25.1%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
* 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■ 当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■ 当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■ 投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■ 投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■ 当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■ 当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■ 当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■ 当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■ 当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(資産成長型)

基準日 2020年1月31日

基準価額および純資産総額の推移



* 基準価額は信託報酬控除後の値です。信託報酬には、投資対象とする投資信託分を含みます。
 * 分配金再投資基準価額は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金(税引前)を再投資したものと計算した理論上のものであり、実際の投資家利回りとは異なる点にご留意下さい。

騰落率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
	-5.13%	0.19%	-1.43%	3.01%	4.89%	168.10%

* 基準価額の騰落率は、分配金(税引前)を再投資し、計算しています。

* 当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 * 当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定日	2008年11月12日
信託期間	2027年11月10日まで
決算日	毎年11月10日 (休業日の場合は翌営業日)

基準価額	26,810円
純資産総額	0.27億円

ファンドの資産配分	
SPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンド	88.7%
スパークス・マネー・マザーファンド	0.0%
現金等	11.3%

【ご参考】

基準価額変動の要因分解 (月次ベース)		
基準価額変動金額		
内訳	株式等	-1,449円
	アジア太平洋地域	-1,086円
	中東地域	-3円
	為替	-429円
	その他	69円

* 金額は対象期間における基準価額の変動を表したものです。
 * 上記は参考情報として当社が算出した概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。

分配金実績(税引前)

決算期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	10/11/10	11/11/10	12/11/12	13/11/11	14/11/10	15/11/10	16/11/10	17/11/10	18/11/12	19/11/11
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

分配金累計	直近10期計	設定来合計
	0円	0円

ポートフォリオの配分

国・地域別配分

	国・地域	比率	比率
アジア太平洋	香港	27.4%	94.2%
	オーストラリア	18.0%	
	台湾	15.3%	
	中国	11.7%	
	その他	21.8%	
中東	UAE	1.6%	2.1%
	サウジアラビア	0.5%	
現金等	-	3.7%	3.7%
合計		100.0%	100.0%

通貨別配分

	通貨	比率
1	香港ドル	39.3%
2	豪ドル	18.6%
3	台湾ドル	15.9%
4	韓国ウォン	6.4%
5	インドネシアルピア	3.8%
	その他	16.0%
	合計	100.0%

業種別配分

	業種	比率
1	情報技術	18.9%
2	金融	16.8%
3	コミュニケーション	13.5%
4	生活必需品	13.0%
5	一般消費財	12.7%
	その他	25.1%
	合計	100.0%

* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

* スパークス・アジアの内部データを元に、スパークス・アセット・マネジメントが作成。
 * 比率はSPARX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
 * P-NOTEやADR等に投資している銘柄の通貨は、現地通貨ベースで算出しています。
 P-NOTEとは、株式や株価指数の価格変動に運用成果が連動する債券のことです。
 ADRとは、主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことです。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年1月31日

組入上位銘柄

NO	銘柄名	Pnote	国・地域	業種	組入比率	配当利回り
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	情報技術	7.4%	3.4%
2	AIA Group Ltd		香港	金融	6.9%	1.7%
3	Tencent Holdings Ltd		中国	コミュニケーション	6.6%	0.3%
4	CSL Ltd		オーストラリア	ヘルスケア	5.7%	1.0%
5	TRANSURBAN GROUP		オーストラリア	資本財	5.6%	3.9%
6	Guangdong Investment Ltd		香港	公益事業	4.3%	3.7%
7	MediaTek Inc		台湾	情報技術	3.7%	2.5%
8	Samsung Electronics Co Ltd		韓国	情報技術	3.6%	2.7%
9	Aristocrat Leisure Ltd		オーストラリア	一般消費財	3.6%	1.8%
10	Hong Kong Exchanges & Clearing Ltd		香港	金融	3.1%	2.6%

* 上記の銘柄の中には現株を含みます。
* 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

* 比率はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドを100%とした場合の構成比です。
* 配当利回りは12ヶ月配当利回り(税引前)です。
* 業種は世界産業分類基準(GICS)の分類に基づきます。

地域別組入上位銘柄の概要

アジア・太平洋地域

No	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co Ltd		台湾	台湾積体回路製造 [TSMC/台湾セミコンダクター] (Taiwan Semiconductor Manufacturing Company Ltd.) は半導体メーカー。ウエハー製造、プロービング、組み立て、テストのほか、マスクの製造、設計、関連サービスを提供。同社の IC (集積回路) はコンピュータ、通信、消費者向け電子製品、自動車、産業機器などに使用される。
2	AIA Group Ltd		香港	友邦保険控股 [AIAグループ] (AIA Group Ltd.) は生命保険および金融サービス会社。個人・企業向け生命保険、傷害疾病保険、年金プランならびに健康管理サービスを提供。
3	Tencent Holdings Ltd		中国	騰訊 [Tencent・ホールディングス] (Tencent Holdings Limited) は投資持株会社。中国、米国、欧州などのユーザーにインターネットおよびモバイル付加価値サービス (VAS)、オンライン広告サービス、電子商取引サービスを提供する。
4	CSL Ltd		オーストラリア	シー・エス・エル (CSL Ltd.) は医薬品メーカー。ヒト血漿由来のヒトおよび動物用の医薬品、診断薬を開発、製造、販売。主な製品は小児用・成人用ワクチン、感染症予防薬、鎮痛剤、皮膚疾患治療薬、解毒剤、抗凝血剤、免疫グロブリンなど。
5	TRANSURBAN GROUP		オーストラリア	トランスアーバン・グループ (Transurban Group) は道路建設会社。Melbourne City Linkと有料道路 Hills Motorway M2 を運営する。料金所システムの電子化と設営も手掛ける。

中東地域

No	銘柄名	Pnote	国・地域	銘柄概要
1	First Abu Dhabi Bank PJSC		UAE	ファースト・アブダビ・バンク (First Abu Dhabi Bank PJSC) は銀行。預金、個人向けローン、e-バンキング、貿易金融、外貨取引、その他の銀行サービスを手掛ける。世界各地で事業を展開。
2	Saudi British Bank/The		サウジアラビア	サウジ・ブリティッシュ・バンク (Saudi British Bank) は、預金業務、リテールおよびコマース・バンキング・サービスを提供。消費者・シンジケートローン、仕組み債、プロジェクト金融、証券仲介、ファイナンシャル・プランニング、プライベート・バンキング、ミューチュアルファンド、ファクタリング、財務サービスなどを手掛ける。

* 上記は個別銘柄の取引を推奨するものではありません。
* 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。
* 出所: 各社ホームページ

* 上記はSPARKX・アジア・ミドルイースト・エクイティ・インカム・ファンドの組入上位銘柄です。
* ADRとは主に米国で取引される、株式を代替する預託証券のことであり、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合があります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年1月31日

コメント

■市場環境

《アジア株式》

アジア株式市場は、経済指標が好調なことや米中両国が貿易協議の第一段階で合意したことを受け、昨年12月の良好なモメンタムを維持したまま新年の幕を開けました。しかし中国・湖北省武漢市で発生した新型コロナウイルスの感染が中国全土のみならず国外にまで拡大したために、上昇基調は一転し、多くのアジア株式市場で月初を下回る水準まで株価が下落しました。

中国政府は武漢市を封鎖し春節の休日を延長して、人の移動を最小限に抑えています。他のアジア諸国・地域も様々な渡航制限を実施しています。中国では例年と異なり、春節中の旅行や経済活動を控える動きが広がりました。中国の多くの工場で生産再開が予定より遅れているため、世界のサプライチェーンは短期的に影響を受ける可能性があります。またコモディティ価格と原油価格が下落しましたが、これは中国の資本財と輸送の需要が短期的に減少する可能性が高まったためです。香港株式市場は数か月に及ぶ抗議活動で既に痛手を受けていたため、国内消費の減少によってさらなる打撃を被り、観光、航空、レストラン、カジノ関連セクターの株価が軒並み急落しました。そうした中であって、ヘルスケア関連銘柄とインターネット関連銘柄（主にオンラインゲームと電子商取引関連銘柄）は比較的底堅く推移しました。

《中東株式》

当月、中東株式市場のパフォーマンスは、まちまちでした。

新型コロナウイルスの感染拡大に起因する中国の需要鈍化懸念を受けて、原油価格が大幅に下落しました。米国がイラン革命防衛隊司令官を殺害したことで地政学的リスクが高まりましたが、両国とも事態の收拾がつかなくなることは望んでいないという姿勢を示しました。

《通貨》

当月、アジア地域の通貨は、対日本円でまちまちな値動きをみせました。

中国人民元、インドネシアルピア、マレーシアリングギットなどが対日本円で上昇し、タイバーツ、オーストラリアドル、韓国ウォンなどが対日本円で下落しました。

■運用状況

《アジア株式》

当月、当ファンドが保有する株式のリターンは、マイナスとなりました。

ヘルスケアセクターがプラスに貢献し、一方で、情報技術セクター、一般消費財セクター、生活必需品セクターなどがマイナスに影響しました。

国別では、香港、台湾、中国などが、特にマイナスに影響しました。

個別銘柄では、CSL Ltd（オーストラリア/ヘルスケア）、Aristocrat Leisure（オーストラリア/一般消費財）、Hong Kong Exchange & Clearing（香港/金融）などが、プラスに貢献しました。一方で、Mediatek（台湾/情報技術）、Treasury Wine Estates（オーストラリア/生活必需品）、Samsonite International（香港/一般消費財）などが、マイナスに影響しました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、株式は市場全体が軟調に推移し、当ファンドの組入銘柄にもマイナス影響が及びました。今後の展開の不透明さが材料視されたことから、香港関連銘柄と中国関連銘柄がボラティリティの高い動きを見せました。

当ファンドの組入上位銘柄であるAIA Group Ltd（香港/金融）、Tencent Holdings（中国/コミュニケーションサービス）、Hong Kong Exchange & Clearing（香港/金融）の株価は、当後半半にかけ、市場と軌を一にして下落しました。新型コロナウイルスの感染拡大により、5G（第5世代移動通信システム）対応スマートフォンの発売延期や関連インフラ支出停滞の可能性が出てきたため、Taiwan Semiconductor Manufacturing Company（台湾/情報技術）、Samsung Electronics（韓国/情報技術）、MediaTek（台湾/情報技術）などのテクノロジー関連銘柄が打撃を受けました。これらの企業は中国の経済成長が当四半期に大幅に減速した場合、減益となる可能性があります。しかし当ファンドの組入銘柄は「体力」が強く、一時的な逆境に耐える力があり、競争力は依然として損なわれておらず「危機」が去れば業績は回復し、事態が正常化すれば、「優良企業」は回復が他より早いので、市場シェアをさらに拡大すると、私どもは考えています。

（次ページへ）

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・アジア中東株式ファンド(隔月分配型)/(資産成長型)

基準日 2020年1月31日

コメント

(前ページより)

当ファンドは、引き続き既存の投資先を注視し、また今後の投資先候補の企業に関する調査も継続することで、優れたビジネスモデル、良好なバランスシート、持続的な成長の見通しを備えた「優良企業」を選別してまいります。

《中東株式》

First Abu Dhabi Bank (アラブ首長国連邦/金融) が堅調に推移した一方で、Saudi British Bank (サウジアラビア/金融) は下落しました。

《通貨》

当月、アジア地域および中東地域の通貨は、対日本円でまぢまぢの値動きをみせましたが、全体としては、当ファンドのパフォーマンスにマイナスに影響しました。

■今後の見通し

《アジア株式》

2003年に流行したSARS (重症急性呼吸器症候群) への対応時の経験を踏まえると、新型コロナウイルスが経済と株式市場におよぼす影響は一時的かつ短期的なものとなりそうだと、私どもは考えます。

事態の沈静化には数ヵ月間かかる可能性があります。一旦「危機」が去れば、経済活動は深刻な停滞から急速に回復すると考えられます。観光など一部のセクターでは回復に時間がかかる可能性もありますが、アジア地域の所得水準が上昇しているため、人々はいずれ旅行を再開するでしょう。消費支出は回復し、グレードアップや高級化といった傾向が続くと、私どもは考えます。

現状の危機は、オンライン医療やオンライン教育の普及が加速するきっかけとなるかもしれません。

例えば、当ファンド組入銘柄のTencent Holdings (中国/コミュニケーションサービス) が運営する「WeChat」などのようなオンラインプラットフォームの多くが「オンライン診療サービス」を提供しているため、「新型コロナウイルス感染を恐れ病院に行きたくない人」などが在宅診療を受けることが出来ます。また、中国全土で学校が閉鎖されていますが、一部の学生は「オンライン授業」によって学習を継続しています。こうした「新しいトレンド」によって、新たな投資機会が生まれる可能性があります。

「アジア地域の経済発展とアジア企業の地位向上」という長期的な投資テーマは健在であると、私どもは考えます。引き続き「新興国市場で優良企業となる可能性を持った企業」を発掘してまいります。

《中東株式》

原油市場の価格変動が激しく、地政学的リスクがあることから、当ファンドは中東の株式市場を慎重に見ていますが、政府は経済成長と財政均衡のバランスを模索すると予想しています。今後、指数算出会社のMSCI社 (米国) の各種株価指数における中東の株式市場の構成比率が高くなると、同市場が見直される可能性があります。銀行セクターの再編は、引き続き中東地域の株式市場の主な投資テーマの一つになるでしょう。

当ファンドは、金融セクターの保有銘柄を引き続きポジティブに見ています。

《通貨》

通貨は、短期的には資本フローの影響によって大きく変動すると思われませんが、長期的観点で見ると、アジア地域および中東地域の経済のファンダメンタルズに力強さが見られることから、両地域の通貨は対日本円で上昇すると、私どもは考えます。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではなく、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。